

研究課題番号	5-1905
研究課題名	汚染土壌からの揮発量ポテンシャルの予測手法と揮発による摂取リスクの評価
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	東北大学
研究代表者名	駒井 武

1. 委員の指摘及び提言概要

実測と拡散モデルを用いて土壌内の複雑な揮発メカニズムを解析し、ある程度の予測が可能なモデルのプロトタイプができていると思う。また、汚染土壌からの揮発量ポテンシャルの予測手法に関する検討が行われ、標準化に近づいたなど、当初の目標の成果が上がっている。実汚染現場での測定とリスク評価結果を照らし合わせ、モデルの整合性が確認できれば、環境行政に貢献できる。一方、多くのデータが得られているが、最終的に結論的なものが得られていない。また、揮発による摂取リスクの評価については、評価が難しく結論が先送りされている印象があった。潜在的に問題があるのであれば調査を行い、行政的にも積極的に評価方法の検討を進め、影響の大きい地区の対策を進める基盤として進めていただきたい。

2. 採点結果

評価ランク：A